

オーエスワンの使用について


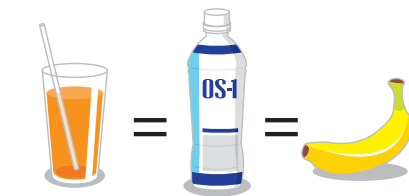
オーエスワンは、他の飲料に比べて**ナトリウム**と**カリウム**を多く含んでいます。
ナトリウム、カリウムの**摂取制限**を受けていらっしゃる方は、
かかりつけ医師に必ずご相談ください。

＋ 経口補水液の電解質組成

| 成分 | Na ⁺ (mEq/L) | K ⁺ (mEq/L) | Cl ⁻ (mEq/L) | 炭水化物 【ブドウ糖】 (%) | クエン酸塩 (mmol/L) | 浸透圧 (mOsm/L) |
|-------------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------|-------------------|-----------------|
| WHO-ORS (2002年) ※ | 75 | 20 | 65 | 1.35 | 10 | 245 |
| ESPGHAN ※※ | 60 | 20 | 60 | 1.6 | 10 | 240 |
| 米国小児科学会 ※※※ 経口補水療法指針 (維持液) | 40~60 | 20 | | 2.0~2.5 | ** | |
| オーエスワン (オーエスワンゼリー) | 50 | 20 | 50 | 2.5 [1.8] | 15* (16.2*) | 約260 |
| スポーツドリンク # | 9~23 | 3~5 | 5~18 | 6~10 | | |
| ミネラルウォーター ## | 0.04~4.04 | 0.01~0.46 | | | | |

※ World Health Organization: <https://www.who.int/publications/i/item/WHO-FCH-CAH-06.1> (2022年7月現在)
 ※※ European Society for Paediatric Gastroenterology, Hepatology and Nutrition: J. Pediatr. Gastroenterol. Nutr., 2001; 33 Suppl.2:S36-39
 ※※※ AMERICAN ACADEMY OF PEDIATRICS Committee on Nutrition: PEDIATRICS 1985;75(2):358-361
 # 山口規容子: 小児科診療, 1994;57(4):788-792
 ## 梶井理恵, 他: 川崎医療福祉学会, 2003;13(1):103-109
 * 20~30%の塩基 (酢酸、乳酸、クエン酸、重炭酸) としての陰イオンで、残りは塩素
 ** クエン酸塩とクエン酸の総量

＋ オーエスワンの電解質含有量比較

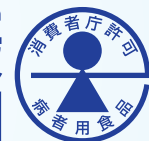
| オーエスワン(OS-1)1本(500mL)の ナトリウム含有量は575mg(食塩1.46g) | オーエスワン(OS-1)1本(500mL)の カリウム含有量は390mg |
|--|---|
|  <p>味噌汁: 1杯 (約150mL) オーエスワン 500mL 梅干し: 中1個 (梅肉 約8g)</p> |  <p>100%オレンジジュース: 1杯 (約200mL) オーエスワン 500mL バナナ: 1本 (約100g)</p> |

Oral Rehydration Solution

経口補水液

OS-1

オーエスワン®



消費者庁許可
個別評価型
病者用食品

文部科学省 日本食品標準成分表2020年版(八訂)より
https://www.mext.go.jp/a_menu/syokuhinseibun/mext_01110.html (2022年6月現在)

〈 許可表示 〉

オーエスワンは、脱水症のための食事療法(経口補水療法)に用いる経口補水液です。軽度から中等度の脱水症における水・電解質の補給、維持に適した病者用食品です。下記の状態等を原因とした脱水症の悪化防止・回復、脱水症の回復後も下記の状態等における水・電解質の補給、維持にご利用ください。

- 感染性腸炎、感冒による下痢・嘔吐・発熱
- 高齢者の経口摂取不足
- 過度の発汗

また、脱水を伴う熱中症にもご利用ください。

〈 摂取上の注意 〉

下記の1日当たり目安量を参考に、脱水状態に合わせて適宜増減してお飲みください。

- 学童~成人(高齢者を含む) : 500~1000mL/日
- 幼児 : 300~600 mL/日
- 乳児 : 体重1kg当たり30~50mL/日

医師から脱水症の食事療法として指示された場合にお飲みください。

医師、薬剤師、看護師、管理栄養士、登録販売者の指導に従ってお飲みください。

食事療法の素材として適するものであって、多く飲用することによって原疾患が治癒するものではありません。